



清水エスパルス

ホームタウン次世代育成プロジェクト エスプラス 1/2

サッカーのまち静岡ならではの授業で『地域愛』を醸成し、人口減少・若年層の県外流出に解決の糸口を! 小さな一歩が地域の大きな未来に! エスパルスでは2011年より静岡市・静岡大学と連携し、ホームタウン次世代育成プロジェクト「エスパルスドリーム教室」を開催し子どもたちの学習への興味や関心を高めてきました。2020年からは地域課題である人口減少に取り組むべく‘エスパルスに様々なものをプラス’し、皆で持続可能な地域を創るという意味を込め授業名を「エスプラス」とし、産学官連携にて新たな授業を展開しています。



活動場所

静岡市内小・中学校15校、富士市内小学校・高等学校3校、富士宮市内小・中学校3校(2021年度) ※2011年~2020年にホームタウン静岡市にて計141校実施、2021年よりファミリータウン2市でも展開



協働者

企業、住民、学校、行政、一般社団法人

協働者名

静岡市、富士市、富士宮市、静岡大学、一般社団法人 プロフェッショナルをすべての学校に、明陽電機株式会社、フジ物産株式会社、東海澱粉株式会社、春日製紙工業株式会社、コアレックス信栄/三栄株式会社、授業実施各校



協働者の声

明陽電機株式会社 管理部/伴野 豪 氏



エスプラスを通じた学校訪問は、BtoB企業である当社にとって小中学生と接する数少ない機会であり、社員が会社紹介と共に社会人としての考えを説明できる大変貴重な経験をさせていただいています。今後もエスプラスの活動によって、地域の子どもたちが地元の産業や企業に興味を抱ききっかけになればうれしいです。



活動詳細情報

- 1 [公式サイト](#)
- 2 [静岡市HP\(資料\)](#)
- 3 [静岡新聞\(人口減少関連記事\)](#)
- 4 [静岡大学HP](#)
- 5 [協働社HP①](#)
- 6 [協働社HP②](#)
- 7 [協働社HP③](#)
- 8 [協働社HP④](#)



カテゴリ(SDGs)/取り組みテーマ





清水エスパルス

ホームタウン次世代育成プロジェクト エスプラス 2/2

Story

人口減少は静岡市でも深刻な問題で、2015年に市は人口ビジョンを策定し政策を進めています。特に若年層の県外流出が主因で、県内高校生の約72%が県外大学へ進学、首都圏進学者のUターン率も38%(2019年)と低く県内への就職促進が課題となっています。

前身の「エスパルスドリーム教室」では地域に根付いているサッカーを算数や理科に取り入れ学習への興味や関心の向上を図ってきました。教室を継続して9年、事業としてはホームタウンに浸透しているものもっと地域に寄り添った授業が展開できるのではと可能性を感じ、地元企業にも協力いただ



き「エスプラス」としてクラブが地域教育のコーディネーターを担う新たな授業をスタートし地域愛醸成による人口減少解決に取り組んでいます。

2つの授業テーマ「サッカーやエスパルスを通じた地域(会社・市民)との関わりを考えよう」で誇るべき地元企業の存在を知ることによって郷土愛を育み、「働く大人から社会に出て必要なチカラを学ぼう」で多様化する社会で求められる地域と連携したキャリア教育を提供。企業の社会課題やSDGsへの取り組みも内容に含み、児童生徒とクラブ、社員が対話をしながら授業を進めます。

「直接学校と関わる貴重な機会です。小学生のSDGsへの意識の高さに驚き、また自らの仕事や地域について改めて考えるきっかけとなった」といった企業の声や、「地元の企業のすごさに気づき地元で働きたいと思った」という児童の感想、長年の継続事業を4者連携で拡充した良い例であるといった静岡市の評価より、協働者にとっても実りある活動となっています。



今後は高校大学にも対象を広げICTを活用した遠隔授業等にも取り組み、近年増加傾向にある県内への移住促進にも貢献していきます。エスプラスが地域愛を醸成し、将来地元で働くことを選択する‘きっかけの一つ’になることを願い、これからも協働者と共に地域の未来に向き合います。